

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成27年6月19日（金）
 開催時間：14時15分～15時16分
 開催場所：全員協議会室

〔出席議員〕

原田議長、澁谷副議長
 足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員
 上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員
 道下議員、田畑議員、平石議員、西田議員、西村議員、江角議員
 牛尾博美議員、牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、教育長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長
 総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長
 都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長
 教育部長、消防長、上下水道部長（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

議 題

【全国市議会議長会・中国市議会議長会表彰の伝達】

1 執行部報告事項

- (1) 浜田女性ネットワーク市議会について
- (2) 元気な浜田づくり市民委員会の開催について
- (3) 介護人材確保のためのシングルペアレント受入事業の申請状況について
- (4) 平成27年度個人市民税の当初賦課状況について
- (5) 所得別所得金額の推移について
- (6) 市税等における減免件数等の推移について
- (7) 平成26年度市税等徴収率について（速報値）
- (8) 産前産後家事支援サポーター派遣事業について
- (9) 浜田市プレミアム付共通商品券発行事業について
- (10) 国事業を活用したリシップ実証事業の実績報告について
- (11) ようこそ浜田！共通商品券発行事業について
- (12) リハビリテーションカレッジ島根学校経営シミュレーションについて
- (13) その他

（配布物）

- ・ 浜田市合併10周年記念事業の実施について
- ・ 平成26年度空き家バンク制度の利用状況について
- ・ 避難行動要支援者名簿について
- ・ 放課後児童クラブの状況について
- ・ 浜田市多子世帯生活支援事業について
- ・ 平成26年度のごみの排出量等について

- ・ 女性向け起業セミナーについて
- ・ 浜田市農業産出額について
- ・ 漁業別水揚げについて
- ・ 平成26年 宿泊者数の調査について
- ・ 美又温泉国民保養センターの運営状況について
- ・ 旭温泉あさひ荘の営業再開後の利用状況
- ・ 市道の廃止・認定の状況について
- ・ 平成25年8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について
- ・ 旭小学校の開校に向けたスケジュールについて
- ・ 市内衛生関係専修学校の入学生の状況について
- ・ 市内中学生の進学等の状況について
- ・ 浜田市いじめ防止基本方針について

2 その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

[14 時 15分 開議]

原田議長 三浦局長	これから全員協議会を開催するが、会議に先立ちまして事務局長より。 それでは全協に先立ち、お手元に資料配布しているが、先般開催された中国市議会議長会と全国市議会議長会の定期総会において表彰された議員に、表彰状及び感謝状が来ているので、伝達式を行いたい。 (以下、表彰伝達) 受賞された皆さま大変おめでとうございます。なお議長におかれては別紙のとおり、全国市議会議長会から感謝状及び中国市議会議長会から特別表彰されているのでお知らせしておく。大変おめでとうございます。 原田議長 では早速全員協議会を開催する。
--------------	---

1. 執行部報告事項

(1) 浜田女性ネットワーク市議会について

原田議長 総務部長 原田議長 原田議長	この件について、総務部長。 (以下、資料をもとに説明) この件について議員から質問は。 (「なし」という声あり) 無いようなので、この件については終了する。
----------------------------------	--

(2) 元気な浜田づくり市民委員会の開催について

(3) 介護人材確保のためのシングルペアレント受入事業の申請状況について

原田議長 地域政策部長 原田議長 原田議長	この2件について、地域政策部長。 (以下、資料をもとに説明) この件について議員から質問は。 (「なし」という声あり) 無いようなので、これらの件については終了する。
------------------------------------	---

(4) 平成27年度個人市民税の当初賦課状況について

(5) 所得別所得金額の推移について

(6) 市税等における減免件数等の推移について

(7) 平成26年度市税等徴収率について（速報値）

原田議長 財務部長 原田議長 原田議長	この4件について、財務部長。 (以下、資料をもとに説明) これらの件について議員から質問は。 (「なし」という声あり) 無いようなので、この件については終了する。
----------------------------------	---

(8) 産前産後家事支援サポーター派遣事業について

原田議長 健康福祉部長 原田議長	この件について、健康福祉部長。 (以下、資料をもとに説明) この件について議員から質問は。 (「なし」という声あり)
------------------------	---

原田議長

無いようなので、この件については終了する。

(9) 浜田市プレミアム付共通商品券発行事業について

(10) 国事業を活用したリシップ実証事業の実績報告について

(11) ようこそ浜田！共通商品券発行事業について

原田議長

この3件について、産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

原田議長

これらの件について議員から質問は。森谷議員。

森谷議員

(10)について。委員会で浜田だけが守っていても他所の船がメッキンを保護しなければ意味がないという話を聞いた。その後、同じような発表なのだが、浜田だけなのか、何か動きがあるのか、その後どうなっているのか。

産業経済部長

小型魚を獲らない。5、6キロ四方でノドグロが3箱以上揚がると、そこは禁漁区について他に移って操業しようという取り組みだが、浜田の漁船だけが取り組んでも、他の船が入ってくるから全く無意味な取り組みではないか、というご指摘については、浜田の漁船については情報共有して同様の禁漁区としてやっていくよう進めたいと思っている。

ただ、他の港の船については、漁場は若干異なるものの、そこまでの情報共有には至っていない。これは三重の大学等でも色々な研究がされており、島根県とも連携して調査を進めて、小型魚の生育について禁漁区として、大きくしてから獲ろうという研究もされているが、これは県とも相談して、ご指摘の件について他港にも浜田の取組を周知して、出来るだけ禁漁区には入らないで漁をしていただきたい、という取り組みを進めなければいけないと考えている。今後は禁漁区についての情報共有を広めていきたい。

森谷議員

現実的に、いつからどのようなことをイメージされているか。

産業経済部長

市内の他港について、どこまでの協力が得られて、いつから禁漁区に出来るかについては今申し上げられないが、他の港にも事情を説明しながら、出来るだけ理解していただきたいという取り組みをしなければならぬと考えている。

森谷議員

いつからと悩む必要はない。今日から電話かけたり郵便出したりして協力を仰ぐだけ。

原田議長

(10)で他に質問は。なければ(11)について。

森谷議員

ようこそ浜田の下に、大きな3その他とある。その1行上だが、「ホテル・旅館についての宿泊代は調整中」とある。ホテル代金に1,000円か2,000円の商品券を使うのがいけないかもしれないと考えているのか、その発想が分からない。

産業経済部長

ご指摘の点は、宿泊された方に1人あたり2,000円。これはホテル代を払われる方であれば子どもさんでも2,000円あげようというもの。それが宿泊施設で使えるということになると、周りの施設に全然波及しない。飲食店、お土産、そういった所へ波及しないのではという意見があった。県内他市、出雲市等ではこういったお土産券については宿泊所では使えないとされている市がある。その中で、ただ一方、使われるコスト全体の中で宿泊に2,000円の券が当たれば、現金が外に回っていくんだから、トータルの経済効果は一緒じゃないかというご意見もある。うちでもそ

ういった点を加味して、その宿泊施設で券を配っていただいたり、金券なので保管管理もしていただく。アンケート調査等も協力していただく。なので、ホテルで一切使えないということになると、ホテルとしてもこういった事業をするメリットがないという声がある。ホテル内でどう言った形で使っていただけるかを考えている。最終的に旅館組合さんと、今現在どういう仕組みでやるかを調整中であるということだ。

牛尾昭議員

これは常任委員会でも言ったが、ホテル・旅館関係総じて是非このようにして欲しいという要望が出ていた。県が失敗したように、政策を打つ時に「出さない」という、事業を作ってお金を出さないような制度を作るなら意味がない。少しザルであっても良いから出して使ってもらうということがないと、僕は島根県の二の舞になって、予算を計上したけど余って困ると。その時に旅館ホテルさん何とかしてくださいよという、そういう不細工なことをしないように。島根県が良い見本を示してくれているので。市長にはすぐそういう方向を決断してもらって。後になると残る。だらだら言わないとすぐ決める。即決即断でこういう政策は打ってもらようようお願いする。

産業経済部長

出雲市等の例を申し上げたが、議員ご指摘の点も含めて調整を図っている。その方向で調整させていただきたい。

田畑議員

先ほど森谷議員もちょっと言われたが、部長の答弁では宿泊代への充当は現在調整中であるとのことだった。調整中のような案件を全員協議会の場に出さないでくれ。全く不透明で非常に困る。

産業経済部長

その点については、ここまでの期間で最終的に調整がついておらず、今発表出来る段階でないということに対して、大変お詫び申し上げます。ただ、これが10月1日から事業開始で、7月1日から以前のプレミアム商品券については申し込みも始まるので、本議会に合わせて発表させてもらったが、まだ調整がついてない事業まで同じような商品券を使うので同時に発表させてもらった。しかし田畑議員が仰るように、調整がついてないので、早急につけてお知らせしたいと思う。大変申し訳なかった。

原田議長

他に。

(「なし」という声あり)

原田議長

無いようなので、この件については終了する。

(12) リハビリテーションカレッジ島根学校経営シミュレーションについて

原田議長

この件について、三隅支所長。

三隅支所長

(以下、資料をもとに説明)

原田議長

この件について議員から質問は。森谷議員。

森谷議員

斉藤さんが言われた最後の「ご支援いただいております」。私も支援したいのだが、皆さんの例を教えてください。

三隅支所長

一般質問で頂戴したが、平石議員さんが名刺に刷り込んでいると言われたり、今回森谷議員が支援についての提案があったりというところだ。

森谷議員

分かった。結局人任せで事例も少なく、やっている内に入らないということだと解釈する。こういう発表をされて、マイナスが資金繰りで出ている割には、危機感が完全にはないと思う。例えば松阪市から市長が来て、帰る時にこれをお土産と一緒に久保田市長が渡されたとか渡されないとか、それは分からないが、そういうことでも充分だし、市長

がどこかに行くんだったら、例えば部長に渡されれば、ああ浜田の市長から頼まれたと、どこの市町でも思われるのではないかと思う。私らも研修に行くので、これを持って行って「ひとつお願いします」と言うだけでも、プラスにはなってもマイナスにはならない。皆さんも多分出張に行かれると思う。その辺を利用されるとか。またここに出張で来られる方には是非渡してと頼むとか、それだけでも効果はあると思う。ティッシュペーパーも1,000個まけば10人お客が来て1人残るとか、そういう統計があるようなので、もっと考えて、脳から血が出る一歩手前くらいまで考えてくれ。

三隅支所長
笹田議員

ご意見承る。

委員会を傍聴してなかったのも同じ質問になるかもしれないが、一番上の目標数70名のところで、説明の中に下の○の2番目に「採算の分かれ目となる学生数は250人」とある。今の所250人には到底及んでない。24年に入学された方を見ると、今年の4年生だが48名。25年度に入学された方は来年、もし1人も辞めなければ57名ということで、やはり10名程度減っている。そうなると70名を設定して10名引くと60名になって、目標数63人以上に届かないと思う。その辺の数字はどのように計算されたのか。

三隅支所長

下の方ではマイナス1,200と見込みながら、入学生70人という数字にしている。上の数字だけで申すと、退学者が1人も出ないといったシミュレーションをしている。確かにずっと、1,200万円を見込むなら、ここの数字は70ではなく75くらい行かないと、確かにおかしいというご指摘はごもっともだと思う。

笹田議員

おかしいならシミュレーションにならないと思う。おかしいのであれば。ちゃんとしたものを出してもらわないと。支所長自身がおかしいと思っているものを鵜呑みにして「はいそうですか」というわけにいかないで、ちゃんとしたシミュレーションをしたものを再度出してもらわないと。10名ずつ減る予想があるので、入学者数は最初80名で卒業する時まで70名で留めるんだという話なら分かるが。今の所1年生で入ってきて、1人も辞めなかった年はない。それでシミュレーションというのは非常に甘い気がする。だからこういう質問をしているのだが、その辺を再度お願いする。

三隅支所長

申し訳ない。出来れば入学生を4年間ずっと退学者・休学者を出さずに行きたいという思いは同じである。ただ、固めに数字を見るところで下はマイナスの数字を入れているが、これが限りなくゼロになるのが希望。飽くまで固めに見ようという意味でマイナス1,200万円を入れている。理想は70を減らさずにいきたい。

原田議長

その他に。

(「なし」という声あり)

原田議長

無いようなので、この件については終了する。

(13) その他

(配布物)

- ・ 浜田市合併10周年記念事業の実施について
- ・ 平成26年度空き家バンク制度の利用状況について
- ・ 避難行動要支援者名簿について

- ・放課後児童クラブの状況について
- ・浜田市多子世帯生活支援事業について
- ・平成26年度のごみの排出量等について
- ・女性向け起業セミナーについて
- ・浜田市農業産出額について
- ・漁業別水揚げについて
- ・平成26年 宿泊者数の調査について
- ・美又温泉国民保養センターの運営状況について
- ・旭温泉あさひ荘の営業再開後の利用状況
- ・市道の廃止・認定の状況について

原田議長
市民生活部長

その他について、執行部から無いか。市民生活部長。

配布物の前に差替えがある。6月1日に全員協議会でご説明した、27年度の国民保険料率について、一部間違いがあった。賦課限度額、平成27年度69万円の所にアンダーラインが引いてある。26年度も67万の所にアンダーライン。これがそれぞれ67、65ということで単純なミス。議員からご指摘をいただいた。誠に申し訳ない、以後気を付ける。

原田議長
地域政策部長

その他、地域政策部長。

その他で2点ほど、ご報告とご案内をさせていただく。まず1点は口頭で。平成27年度坂根正弘奨学金について。これについては既に全員協議会で募集のご案内をさせていただいているが、今回8名の応募をいただいている。今月中に一次審査を行い、8月中には3名の奨学生を決定したいと思っている。また決定したらご報告したい。

もう1点は、議員の皆さんのお手元に地方創生講演会の開催ということでご案内文書を送らせていただいている。このたび、まち・ひと・しごと創生の色々な参考にするということで、内閣官房のまち・ひと・しごと創生本部中央創生総括官、山崎史郎氏にお越しいただき講演会を開催する。日時は7月24日(金)午後3時から4時30分まで、県立大学交流センターコンベンションホールで行う。山崎史郎氏はこのまち・ひと・しごと創生部総括官事務局のトップでおられて、お父さんが浜田のご出身というご縁もあり、このたび来ていただく。参考になると思っている。石見部の9市町の首長さんや議長、商工団体等200名の方にご案内しているので、是非ご参加をお願いする。チラシとお申し込みいただく出欠方法をつけているのでよろしく願います。

原田議長

では執行部の方はこれで退席されるが、皆から意見、質問等があれば。

(「なし」という声あり)

《 執行部退室 》

2. その他

原田議長
三浦局長

その他、局長。

ではお願いしておきたいと思う。例年この時期の国際交流協会の会費の関係だが、協会に入っておられる議員さんについては7月15日の報酬から3,000円の引き去りをさせていただくのでよろしく願います。

それと前にお知らせしていたが、市議会議長会議員研修会が7月10日とお知らせしている。具体的な内容が出たので、お手元のとおり7月10日の1時半から3時半まで、貸切バスでこのように出発しようと思っているの

で、予定しておいていただきたい。

あと、いつものとおり、最終日なので採決結果の記入を今からしていただき、それが終了すると9月議会の関係の議運を開いて、その後政倫審が開催予定なので、それぞれ担当委員については第4委員会室にお集まりいただきたい。

議運はこれを書かれてからでないといけないので、10分かそこらあけて開催したいと思う。半ぐらいからいかがだろうか。

請願7号の継続審査のところの、本会議の採決結果というのは継続に対する賛成か反対かを○か×で示せば良いのか。

継続に対しての賛成・反対。取り下げもそれに対する賛成・反対。

それでは全員協議会をこれで終了する。

笹田議員

三浦局長

原田議長

[15 時 16 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 原 田 義 則